

設立趣意書に基づく「新潟県小水力利用推進協議会」設立
の意思決定について

設 立 趣 意 書

現代社会は、かつて高度な工業化・都市型社会の拡大による負の遺産である公害やCO₂等の環境負荷を増大させた。鋭意その軽減対策を実行し、安全で安心な市民生活の実現が一定程度達成されたものの、化石燃料の枯渇が見え、原子力災害も経験した今日、これまでの一極集中管理型の発電供給方式に依存しすぎず、地域分散・自立型の発電等のしくみを確保していくことが重要となっている。

このような状況のなかで、再生可能エネルギーの利活用が以前にも増して推進されることとなった。「小水力」は、太陽光発電や風力発電等と並んで有望な資源の一つとされているものの、その賦存量を十分に活用できる段階までには至っていない。

新潟県においては、小水力の賦存量が全国有数であるとされているものの、その利活用への取組みは緒に就いたばかりである。

この活動を発展させ導入を拡大させるには、関係する様々な立場の団体に参集いただき、日本海側の自然特性や県内の社会特性にあった発電等の技術開発や維持管理、運営方法についての知識、関連情報、取組の方向性を共有し、具体的な計画から導入につなげ、県内に広く普及啓発していくことが必要である。

これを全国的な取組みと連携しながら、推進する組織として「新潟県小水力利用推進協議会」を設立するものである。

2013 年 10 月 8 日

新潟県小水力利用推進協議会
発起人一同

発起人 新潟県小水力発電導入推進研究会構成員

新潟大学名誉教授 三沢眞一	中越工業株式会社
新潟県土地改良事業団体連合会	株式会社本間組
日本フローサーブ株式会社	株式会社キタック
パシフィックコンサルタンツ株式会社北陸支社	